



砂 防 ボ ラ ン テ ィ ア 通 信

N P O 法 人 大 阪 府 砂 防 ボ ラ ン テ ィ ア 協 会

〈 本会の事業活動 〉

土砂災害防止のため、府内の土砂災害危険箇所の点検調査を行い、府、市町村、地域住民に報告、助言を行う。

土砂災害防止のための防災知識の啓発普及活動

土砂災害防止技術の啓発普及のため、セミナー、シンポジウム、講習会等の開催

その他目的を達成するために必要な事業

平成 19 年度活動の総括と今後の課題

平成 19 年度は、上記の事業活動の具体的展開を次のとおり行いました。

- 1 ネットワークの強化を図るため、市町村、民間関係者や企業に対し入会の働きかけを積極的に行ってまいりました。その結果、正会員 29 名、賛助会員個人 3 名、企業賛助会員 10 社が新たに入会いただきました。
- 2 ネットワークを活かし地域活動を強化するため、土木事務所ブロックごとの体制を決め、市町村との土砂災害対策地域連絡会、小学校等出前講座、防災訓練の啓発活動、砂防施設点検等に参加するなど、新たな取り組みを実施しました。
- 3 従来の現地研修に加え情報提供、意見交換等を行う新たな会員研修会を実施し、会員の資質向上に取り組みました。
- 4 従来からの受託調査事業につきましては、入札改革等の課題もありましたが、会員皆様のご尽力により無事終了いたしました。
- 5 事務局運営につきましては、N P O 法人経営の健全化を図るため会員による当番制といたしました。

以上のように事業活動につきまして、今後も種々工夫し多様な展開をしていきたいと考えています。また、ボランティア活動を会員の自主的な参加・自由な発想・会員相互の交流と親睦のもと有意義なものにするとともに、今後の展開がより幅広いものになるよう積極的なご意見をいただきたく、会員の皆様をお願い申し上げます。

斜面地調査の実績と課題

19 年度の「土砂災害危険斜面等の緊急診断業務委託」を当協会が受注し、継続して調査を実施いたしました。

また会員皆様のご協力により、調査も無事終了致しました。有難うございました。

1 H19年度「土砂災害危険斜面等の緊急診断業務」実績

調査区域・箇所 大阪府池田、茨木土木事務所管内 102箇所
 調査期間 平成19年6月12日～平成19年12月7日
 調査会員 22名（斜面判定士）

2 調査実績表

危険箇所	府下全体	H14	H15	H16	H17	H18	H19	調査率 %
□	896	360	359	128				94.5
□	1115	—	—	162	201	251	102	64.2
□	346							0

（□；人家5戸以上 □；人家1～4戸 □；人家なし）

3 調査、啓発活動状況



4 今後の課題

業務委託の減少は、協会の財源確保及び会員相互間の連携並びに一般の方々への啓発活動などボランティア活動に大きな影響を及ぼすと考えられます。今後、(ア)斜面地調査の確保、(イ)会員の高齢化対策として新規調査会員の確保、(ウ)調査員の養成に取り組む必要があります。

地域ネットワークの具体的な取り組みについて

19年度より土木事務所単位での会員の連絡・協力体制を編成し、各ブロックでの活動の具体的取組みを行いました。従来の活動に加え府・市町村への働きかけの結果、新たな取組みも出来ました。その主なものと会員参加人数を紹介しますと、

- ・ 市民の森ボランティア活動（八尾市主催）5/18 3名参加、10/13 1名参加
- ・ 土砂災害対策訓練（茨木市忍頂寺小学校）6/1 4名参加
- ・ 府・市合同土砂災害危険箇所パトロール（府下7土木事務所管内46箇所）6/6～19 14名参加）

- ・ 土砂災害対策推進地域連絡会（豊能部会） 6/26 7名参加
- ・ 砂防出前講座（阪南市桃の木台小学校） 9/5 2名参加
- ・ 砂防出前講座（豊能町川尻地区） 11/9 2名参加
- ・ 砂防施設点検（富田林土木管内 45 箇所） 11/5~15 6名参加
- ・ 砂防施設点検（池田土木管内 48 箇所） 2/13,19 4名参加

などです。

これらの経験により、土砂災害について府民や地域の子供たちに直接伝えることができ、また砂防施設の現状などを会員自身を知ることができ大きな成果がありました。今後も創意工夫を凝らし、各ブロックで主体的に府・市と協力しながら地域ネットワーク活動を取り組んでいくことが重要です。

砂防施設見学会について

19 年度の砂防施設見学会は、11 月 22 日に奈良県南部の「大塔の地すべり」→「赤谷川みどりの砂防ゾーン創出事業」→「明日香村」のルートで行われ、45 名が参加しました。

「大塔の地すべり」は、奈良県が事前に進行しつつあった前兆現象に気づき、自動観測システムを設置して監視体制をとり、警戒中の平成 16 年 8 月 10 日、吉野郡大塔村（現在は五條市大塔町）を流れる熊野川沿いの斜面で国道 168 号線を巻き込み大規模に発生しました（幅 120m、高さ 120m、移動土量 20 万 m^3 ）。その現象が監視カメラで撮影され一躍脚光を浴びたものです。

設置された地盤伸縮計が異常値を示したため、国道 168 号線を全面通行止めした直後に発生し、人災を免れることが出来たという県の見事な対応や災害復旧時の奈良県砂防ボランティア協会の積極的な取り組みを聞き、大きな研修成果を得ることができました。当時、県の五條土木事務所で担当主幹として活躍された谷口氏（本年度より当ボランティア協会会員）に同行して頂き、実際の模様を迫力あるビデオ等を使って説明していただきました。

今回の見学会には奈良県砂防課および五條土木事務所に一方ならぬお世話になりました。この紙面を借りてお礼を申し上げます。



<平成 16 年 8 月>



<平成 19 年 11 月>

土砂災害に関する講習会について

平成 16 年 2 月 21 日（木）に「土砂災害に関する講習会」が神戸市の兵庫県民会館で開催されました。本協会からは安藤理事長や各理事ほか、斜面判定士資格取得のため参加した人を含め計 25 名が参加しました。

講習会の内容は、兵庫県砂防ボランティア協会の活動、危険箇所の判定、土砂災害防止への今後の取り組み、砂防事業をめぐる最近の話題、新しい防災気象情報と警報改善の取り組み、砂防ボランティアの目指すものなどでした。兵庫県砂防ボランティア協会の準備のお陰

で充実しており、とても参考になるものでした。

中でも兵庫県砂防ボランティア協会顧問・神戸大学沖村孝教授の「土砂災害防止への今後の取り組み」は同教授の「斜面研究の歴史」を分かり易く説明されました。六甲砂防事務所・後藤所長の「砂防事業をめぐる最近の話題」、神戸海洋気象台・草川和康防災気象官の「新しい防災気象情報と警報改善の取り組み」では最新の気象条件などを考慮した取り組みを紹介されました。

砂防ボランティア全国連絡協議会・田畑茂清会長の「砂防ボランティアのめざすもの」では、平成 16 年 3 月 26 日付け通達（国土交通省砂防部保全課長名）に「砂防設備定期点検について砂防ボランティアが中心となって行い、地域のキーパーソンを向上することが重要」と載っていることを今後の活動のヒントにしてほしいこと、また、六甲山の砂防施設が各地にあり、これの PR・課外授業ハイキングの 3 コースを紹介されました。わが大阪府でも啓発活動のひとつとして計画すれば面白いと思いました。

特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 1 - 6 - 2 TNJ 大阪ビル 6 F

TEL/FAX 06 - 6208 - 1919

E-mail osakasabovo@tea.ocn.ne.jp

<http://www18.ocn.ne.jp/~o-sabo/>

砂防ボランティア募集中

当協会の活動に賛同され、熱意を持って行動できる方で、年齢、性別、経験（砂防に関する知識等）は問いません。

●当協会を支援いただいている企業〔賛助会員〕●

(株)浅沼組、(株)ウエスコ、(株)エヌイーエス、応用地質(株)、(株)奥村組、
(株)修成建設コンサルタント、(株)竹中土木、日本工営(株)、
日本国土開発(株)、(株)ニュージェック (アイエィ順)
(株)浪速技研コンサルタント（平成 20 年度入会）